

参考. コンパクトシティとは

①コンパクトシティの意味

1990年以降、欧米諸国、特にEU諸国において、持続可能な都市のあり方として、コンパクトシティに関する活発な論争が展開されてきた。ダンツイクとサーティにより1970年に提案されたコンパクトシティの概念は、当時は米国において郊外へ拡大する都市の、土地や通勤費の浪費への警告であったが、それが今、持続可能な都市開発戦略として全国で見直されている。

「住む」も含めた様々な諸活動（「働く」「集う」「学ぶ」「憩う」「発信する」）を都市の中心部にコンパクトに集積することで、中心市街地活性化等相乗効果を生もうとするもので、都市の拡大により可住地を増やし続け、人口を増大させる方策を取って来た従来の都市計画に対して見直しを迫る考え方である。

②参考：コンパクトシティに取り組んでいる主な自治体（青森市）

青森市の都市づくり基本理念

青い森・青い海に抱かれたコンパクト・シティの形成

<コンパクトシティ形成に向けた都市整備の主な柱>

- 無秩序な市街地拡大の抑制
- より効率的で効果的なインフラ整備
- 既存ストックの有効活用
- 中心市街地の拠点性の向上（再活性化）
- 都市機能の集約化・複合化とアクセシビリティの向上
- 公共交通の有効活用
- 自然・農業環境との調和 等

資料：日本政策投資銀行HP